

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			適正基準以上を確保している。 利用児数が多い時は衝突・接触などによる受傷がないよう注意している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			適正基準を以上を配置している。 プラスして看護師や理学療法士等の専門的支援のできる職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		エレベーターがないため屋上遊びができない児童がいる。他の遊びを用意。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		月1回の全体ミーティングと適宜ミーティングを実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			保護者向け評価表や面談時などに個別に伺ったご要望を受け、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		3年に一回、行政による実地指導があり、問題なく終了している。事故が起こった時に第三者委員会により助言がいただけるようにしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外部研修に参加。 内部研修も毎月行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4		全員に使っているわけではない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			プログラムの担当が中心となって立案し、個別支援については意見交換している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		毎日ミーティングを予定しているがシフトや送迎等の関係で全員そろわないことがある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		特に大事なことは当日話をするが、就業時間や送迎の関係で職員間の情報共有は翌日となる。また当日勤務していない職員も、個人記録や業務日誌にて情報を得ることが出来る。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			毎日記録をとることを徹底し、また必要であれば責任者が補足している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			半年ごとに保護者面談、事業所内モニタリングを実施。適宜ケースカンファレンスを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			医療的ケア児に関しては、医師の指示書をいただいている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		児童発達管理責任者が利用開始前に保育園訪問する等し、また療育機関からも情報提供をいただいている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4		卒業時、希望のある対象者には行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		できるだけ研修に参加し、必要時は助言を受けるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	特に機会は設けられていないが、外出先等で関わることはある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	4		担当者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3		必要な場合は行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時などに説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			可能な範囲で努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2		今年度は1回のみ。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情の窓口を設けていることを契約時に説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	特に機会を設けていない。 地域のイベントに参加することはある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		マニュアル化しており、会議等により周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			消防署職員より指導を受け、職員による避難訓練を年1回行っている。また利用者を含めた避難訓練も1年に1回実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年1回と職員を新採用する際に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		医師の指示書をいただき対応しなければならない重篤なアレルギーの方ではなく、保護者や本人の申告による。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット報告書を作成しており、また情報と対策を共有している。